

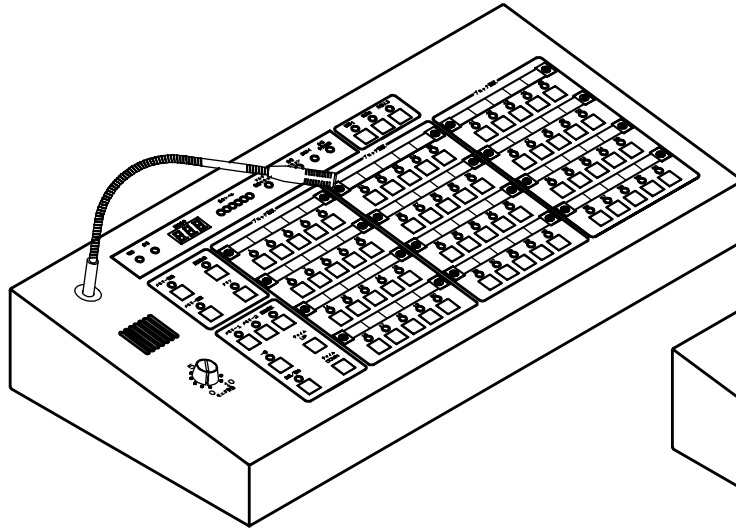


Victor

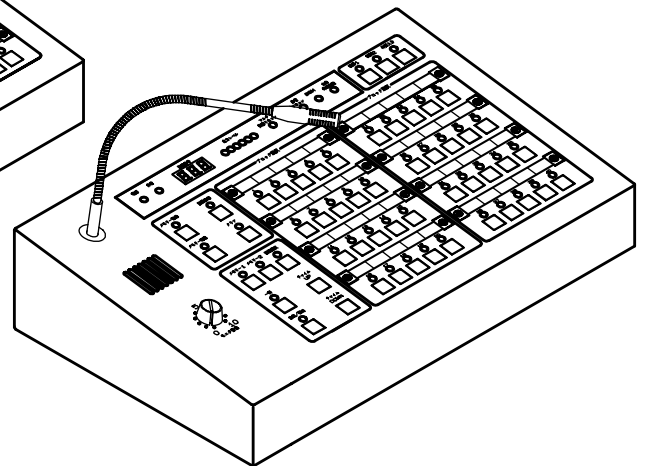
マルチリモートマイクロホン

型名 **TZ-3640**
TZ-3660

取扱説明書



TZ-3660



TZ-3640

お買いあげありがとうございます。

ご使用前にこの「取扱説明書」と添付の「安全上の注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

そのあと、大切に保管し、必要なときにお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。本機の背面に製造番号が正しく記されているかお確かめください。

ST961140

もくじ

特長	1
正しくお使いいただくためのご注意	1
設置時の注意	2
保証とアフターサービスについて	2
各部の名称と機能	3
放送のしかた	4
ブロック選択スイッチで放送する場合	4
メモリースイッチで放送する場合	5
回線選択スイッチで放送する場合	6
放送内容を確認する（モニター機能）	7
各表示灯の説明	7
メモリースイッチに登録する方法	8
メモリースイッチに登録した内容を確認する	8
本体との接続	9
調整	10
背面パネル調整箇所と名称・機能	10
仕様書	
マルチリモートマイクロホン（40局）	ST95665
マルチリモートマイクロホン（60局）	ST95666

添付物・付属品

品名	数量
CD-ROM（設定用ソフトウェア・インストールCD）	1
取扱・設置説明書（この冊子）	1
安全上のご注意	1

特長

◆ 20ブロックを越える制御に対応

TZ-3640は40ブロック、TZ-3660なら60ブロックまでの制御に対応します。
このブロックデータを書き込むための専用ソフトウェアが付属しています。

◆ テンキー機能対応

本体で実装している総てのスピーカー回線に対し個別に選択が可能です。

◆ ユーザーが設定できるメモリースイッチ

ブロックスイッチはプリセットのためにユーザーは変更できませんが、ユーザー設定が可能なメモリースイッチを2個装備しました。

◆ その他の便利機能

放送自動復旧機能内蔵、外部入力端子装備

アップチャイム、ダウンチャイム内蔵

正しくお使いいただくためのご注意

安全上のご注意

■安全にお使いいただくために

- ・製品内部に触れることは危険なうえに故障の原因となります。内部の点検や調整は設置業者にお任せください。
- ・ぬれた手で使用しないでください。本機の内部に水や金属、燃えやすいものを入れないでください。火災や感電の原因となります。

■本機に異常が起きたら

- ・変な音やにおいやけむり等ができるなどの故障状態のまま使用すると危険です。すぐ設置業者に修理をご依頼ください。

取扱上のご注意

■電源スイッチについて

この機器には電源スイッチはありません。常時制御用の電源が入っており待機状態になっています。

放送／復旧スイッチを押すことにより、アンプの電源が入ります。

放送／復旧スイッチを再度押すことによりアンプの電源を切ります。

■モード設定スイッチについて

背面パネルのモード設定スイッチは、本機の動作モードを決めるものです。

動作不良の原因になりますのでスイッチを触らないようにしてください。

■お手入れ

本機表面の汚れは乾いた布で拭いてください。ひどい汚れは中性洗剤で汚れを落としてから乾いた布で拭き取ります。このとき内部に水や洗剤が入らないように注意してください。

またスイッチ類に触れるとアンプ電源が入り放送状態になることがありますので誤放送や切り忘れ等にご注意ください。

設置時の注意

●設置場所について

本設備の付近に電源関連機器など電磁誘導の大きい機器を設置すると、ハム音やノイズがでることがあります。
できるだけ離して設置してください。

●配線について

電源コードやスピーカー線などの電力線とリモートマイクなどの入力線を近づけると機器の動作が不安定になり、発振する場合があります。電力線と入力線はできるだけ離して設置してください。

●接続する機器の最大電流にご注意ください

本体側EM-Y92の「マルチRM24V」端子の最大電流は2端子併せて3Aです。
接続する機器の消費電流を合計して、この電流値を超えないようご注意ください。電流値が越えると出力電圧が降下し、機器が正常に作動しなくなります。

参考	PA-C620	220mA
	TZ-3640	400mA
	TZ-3660	500mA

保証とアフターサービスについて

●保証期間について

保証期間は、引き渡し日より1年間です。保証期間経過後の修理については、お買いあげ販売店にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理致します。

●アフターサービスについてのお問い合わせ先

その他アフターサービスについてご不明の点は、お買いあげ販売店、または、最寄りのサービス窓口にご相談ください。

●修理を依頼されるときは

修理を依頼されるときは、お手数でももう一度、各部の状態についてお調べください。（特に本体アンプ側のEM-E96液晶表示部を参照）

それでも具合が悪いときは、次のことをおしらせください。

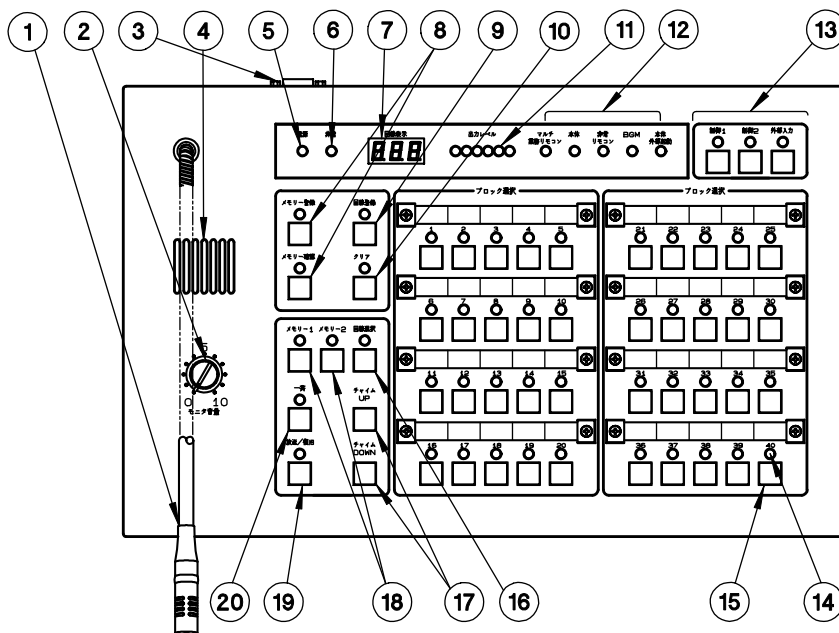
- ・機種名：40局マルチリモートマイクロホン
型名：TZ-3640

- 又は
- ・機種名：60局マルチリモートマイクロホン
型名：TZ-3660

- ・故障の状態をできるだけ詳しく
- ・納入年月日 ご住所 ご氏名 電話番号

各部の名称と機能

説明図は40局仕様TZ-3640で説明しますが60局仕様TZ-3660もブロック選択スイッチ及び選択表示灯の数が異なるだけで基本は同じです。60局仕様TZ-3660の機器をご使用のお客様はブロック選択スイッチ及び選択表示灯の部分だけを読み替えてご覧ください。

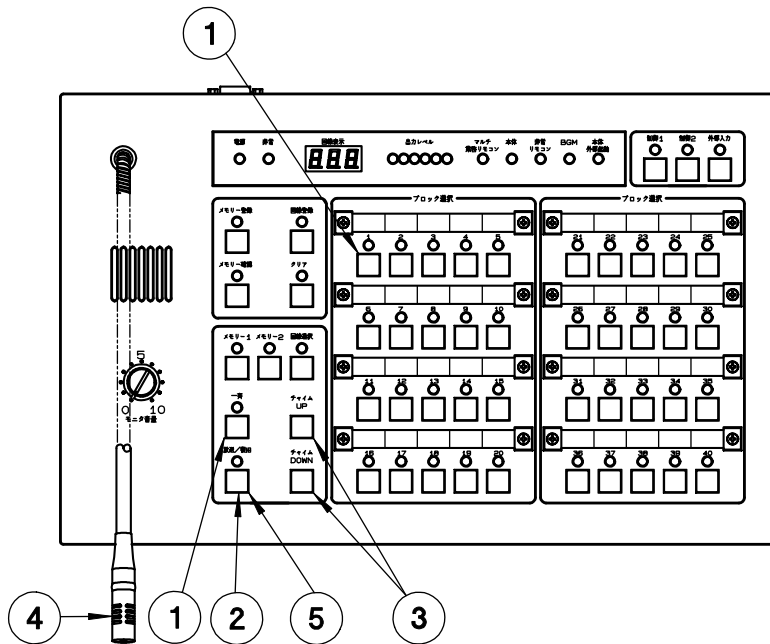


- | | | |
|----|-----------------|--------------------------|
| 1 | アナウンスマイク | : マイク放送時に使用します |
| 2 | モニター用音量調節器 | : モニターの音の大きさを調節できます |
| 3 | データ書き込みPC用コネクター | : スイッチデータを書き込むPCを接続します |
| 4 | モニタースピーカー | : 本体マイク放送の内容を確認できます |
| 5 | 電源表示灯 | : 本体から電源が通電中に点灯します(常時) |
| 6 | 非常放送中表示灯 | : 点灯中は全てのキーが無効になります |
| 7 | 回線番号表示部 | : テンキー操作時に回線番号を表示します |
| 8 | メモリー登録・確認スイッチ | : メモリーに登録及び確認するときに使用します |
| 9 | 回線登録スイッチ | : テンキーで放送するときに回線登録します |
| 10 | クリアスイッチ | : テンキー操作時に入力した番号を消します |
| 11 | 出力レベル計 | : 放送される音のレベルを表示します |
| 12 | 動作状態確認表示灯 | : 放送装置稼働中に種別に点灯します |
| 13 | 外部機器制御スイッチ | : システムアップ時に使用します |
| 14 | ブロック選択表示灯(40個) | : ブロック選択したときに点灯します |
| 15 | ブロック選択スイッチ(40個) | : 放送エリアをブロック単位で選択できます |
| 16 | 回線選択スイッチ | : テンキーで放送するときに最初に押します |
| 17 | アップダウンチャイムスイッチ | : 放送の前後に使用します |
| 18 | メモリー放送スイッチ | : 予め登録したエリアに放送するときに使用します |
| 19 | 放送/復旧スイッチ | : 放送を開始または終了するときに使用します |
| 20 | 一斉放送スイッチ | : 全一斉に放送するときに使用します |

放送のしかた

ブロック選択スイッチで放送する場合

1. 放送する場所の選択スイッチを押します。
一斉放送の場合は一斉スイッチを押します。
ブロック選択表示が緑色に点灯します。



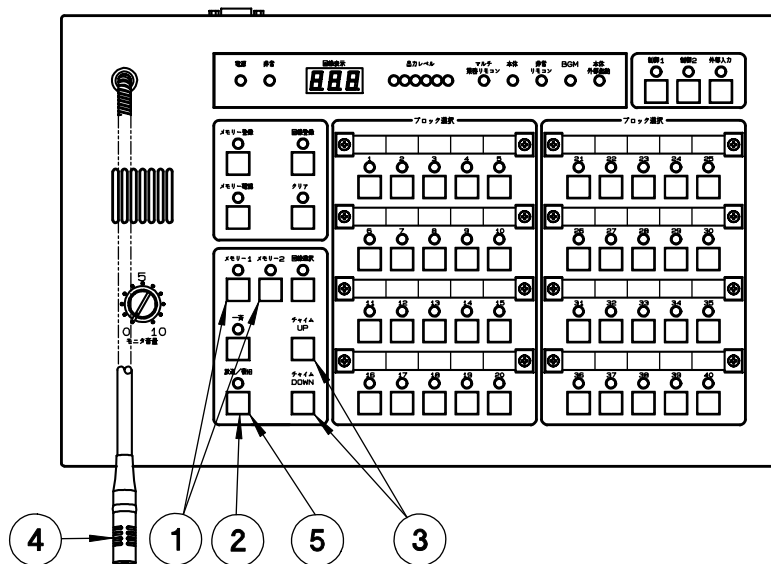
2. 放送／復旧スイッチを押します。
放送／復旧表示灯が点滅から点灯に変わり放送中になります。
3. チャイムスイッチを押します。（任意）
放送の前後に必要なに応じて使用します。
4. マイクに向かって話します。
レベルメーターの赤色が時々点灯するくらいが適当です。
5. 放送が終了しましたら必ず放送／復旧スイッチを押します。
マルチ業務リモコン放送中表示灯やブロック選択表示灯が消灯し、放送を終了します。

放送のしかた

メモリスイッチで放送する場合

メモリー放送はブロック放送の一種ですが放送先の変更が任意に可能です。
メモリスイッチには放送先の回線を予め登録しておく必要があります。
登録方法は8ページをご覧ください。

1. 放送する場所のメモリスイッチを押します。
メモリー1スイッチとメモリー2スイッチは同時に選ぶこともできます。
メモリー表示が緑色に点灯します。

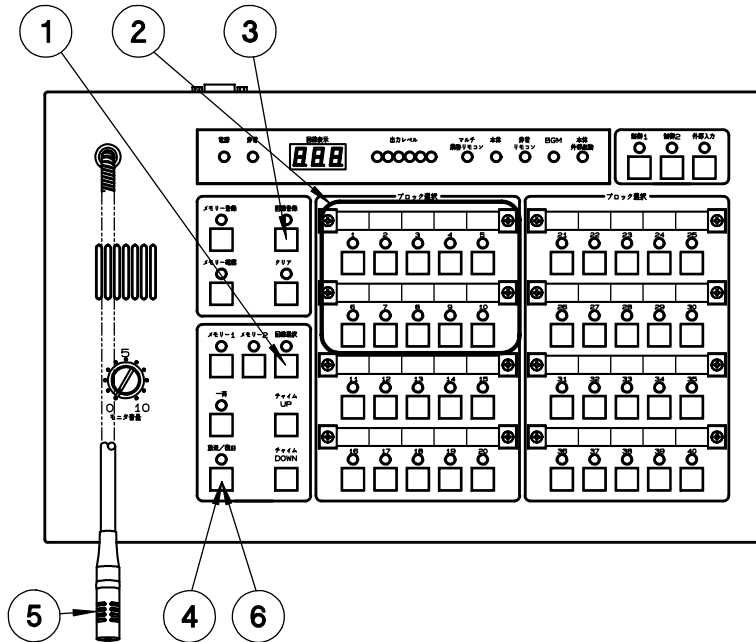


2. 放送／復旧スイッチを押します。
放送／復旧表示灯が点滅から点灯に変わり放送中になります。
3. チャイムスイッチを押します。（任意）
放送の前後に必要な応じて使用します。
4. マイクに向かって話します。
レベルメーターの赤色が時々点灯するくらいが適当です。
5. 放送が終了しましたら必ず放送／復旧スイッチを押します。
マルチ業務リモコン放送中表示灯やメモリー表示灯が消灯し、放送を終了します。

放送のしかた

回線選択スイッチで放送する場合

1. 回線選択スイッチを押します。
1～10のスイッチが薄明るく点灯します。
回線表示ディスプレイには“——”が点滅表示します。

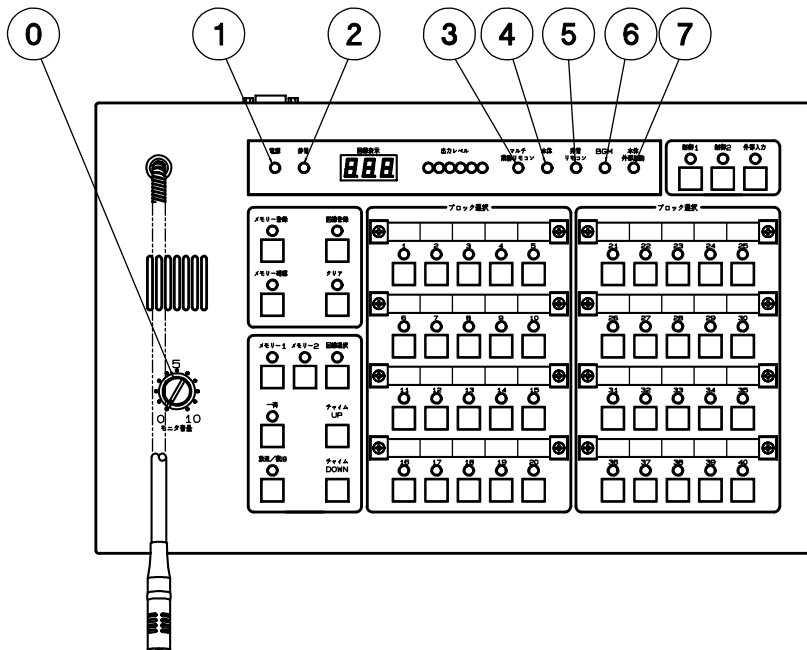


2. 回線番号を設定します。
スイッチ1～10のスイッチをテンキーとして使用します。
回線表示ディスプレイに入力した数字が表示されます。(点滅表示)
数値は実装しているスピーカー回線番号に限られます。
3. 回線登録スイッチを押します。
回線表示ディスプレイの表示が点滅から点灯に変わり回線が確定します。
放送する回線が複数の場合は、2. と3. の操作を繰り返します。
4. 放送／復旧スイッチを押します。
放送／復旧表示灯が点滅から点灯に変わります。
回線表示ディスプレイには選んだ回線番号が順々に表示されます。
5. マイクに向かって話します。
必要に応じてアップチャイム、終了時にダウンチャイムを使用します。
話す音量はレベルメーターの赤色が時々点灯するくらいが適当です。
6. 放送が終了しましたら必ず放送／復旧スイッチを押します。
マルチ業務リモコン放送中表示灯が消灯し、放送を終了します。

放送のしかた

放送内容を確認する（モニター機能）

0. 「モニター音量」で音量を調節します。（任意）
つまみを廻して聞きやすい音量に調節します。
この音量調節は放送されている音量には影響しません。モニター専用です。
なお自分のマイク放送時はミュートがかかり（無音になる）ハウリングを防止します。



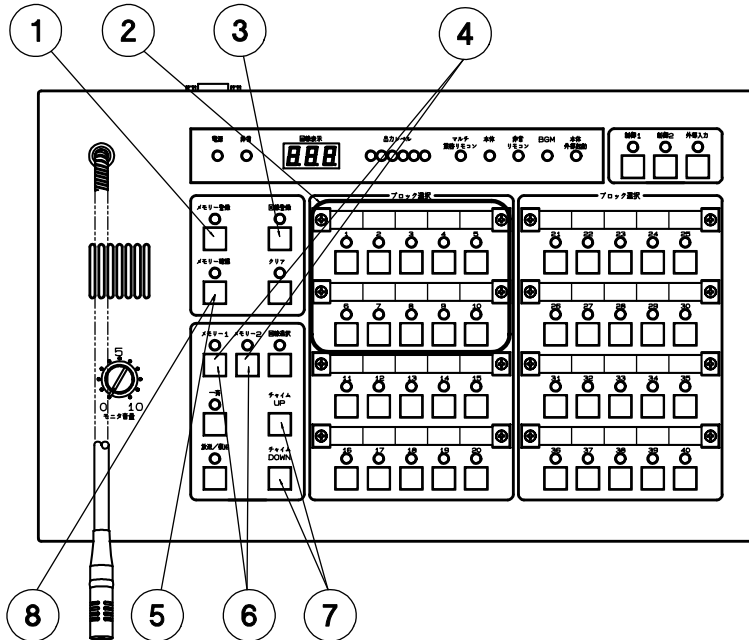
各表示灯の説明

1. 「電源」表示灯
本体より電源が給電中に常時点灯します。停電などで消灯時は使用できません。
点灯中は操作により何時でも放送ができることを示しています。
2. 「非常」放送中表示灯
本体アンプが非常放送状態になると赤色に点灯し非常放送中であることを表示します。
非常放送中はモニター音量以外のすべてのスイッチが無効になり、操作ができなくなります。
3. 「マルチ業務リモコン」放送中表示灯
マルチ業務リモコンで放送しているときに点灯します。
本機で放送しているときや他のリモートマイクで放送しているときに点灯します。
4. 「本体」放送中表示灯
本体放送設備（マイク）の放送中に点灯します。
5. 「非常リモコン」放送中表示灯
EM-C96 非常業務リモコンからの業務放送中に点灯します。
非常放送時はこの表示灯ではなく「非常」放送中表示灯が点灯します。
6. 「BGM」放送中表示灯
BGM放送中に点灯します。
7. 「本体外部起動」放送中表示灯
本体放送設備の外部起動（起動接点、PC）の放送中に点灯します。

放送のしかた

メモリースイッチに登録する方法

1. メモリー登録スイッチを押します。
回線登録スイッチと 1～10のスイッチが薄明るく点灯します。
回線表示ディスプレイには“——”が点滅表示します。



2. 回線番号を設定します。
スイッチ1～10のスイッチをテンキーとして使用します。
回線表示ディスプレイに入力した数字が表示されます。（点滅表示）
数値は実装しているスピーカー回線番号に限られます。
3. 回線登録スイッチを押します。
回線表示ディスプレイの表示が点滅から点灯に変わり回線が確定します。
登録する回線が複数の場合は、2. と3. の操作を繰り返します。
4. メモリー1スイッチ（又はメモリー2）を長押しします。
”ピー”音が鳴り、登録が完了します。
総てのスイッチの表示灯が消灯します。

メモリースイッチの登録した内容を確認する

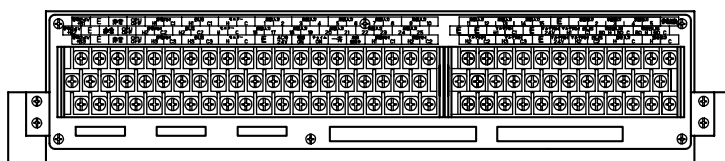
5. メモリー確認スイッチを押します。
メモリー確認スイッチとメモリー1、2スイッチが薄明るく点灯します。
6. メモリー1スイッチ（又はメモリー2）を押します。
回線表示部に登録番号が表示されます。
7. チャイムUPスイッチを押します。
回線表示部に回線番号が順々に表示されます。
一巡すると”End”が表示され最初に戻ります。
チャイムDOWNスイッチを押すと逆順で表示します。
8. メモリー確認スイッチを押します。
回線表示ディスプレイが消え、確認作業を終了します。

本体との接続

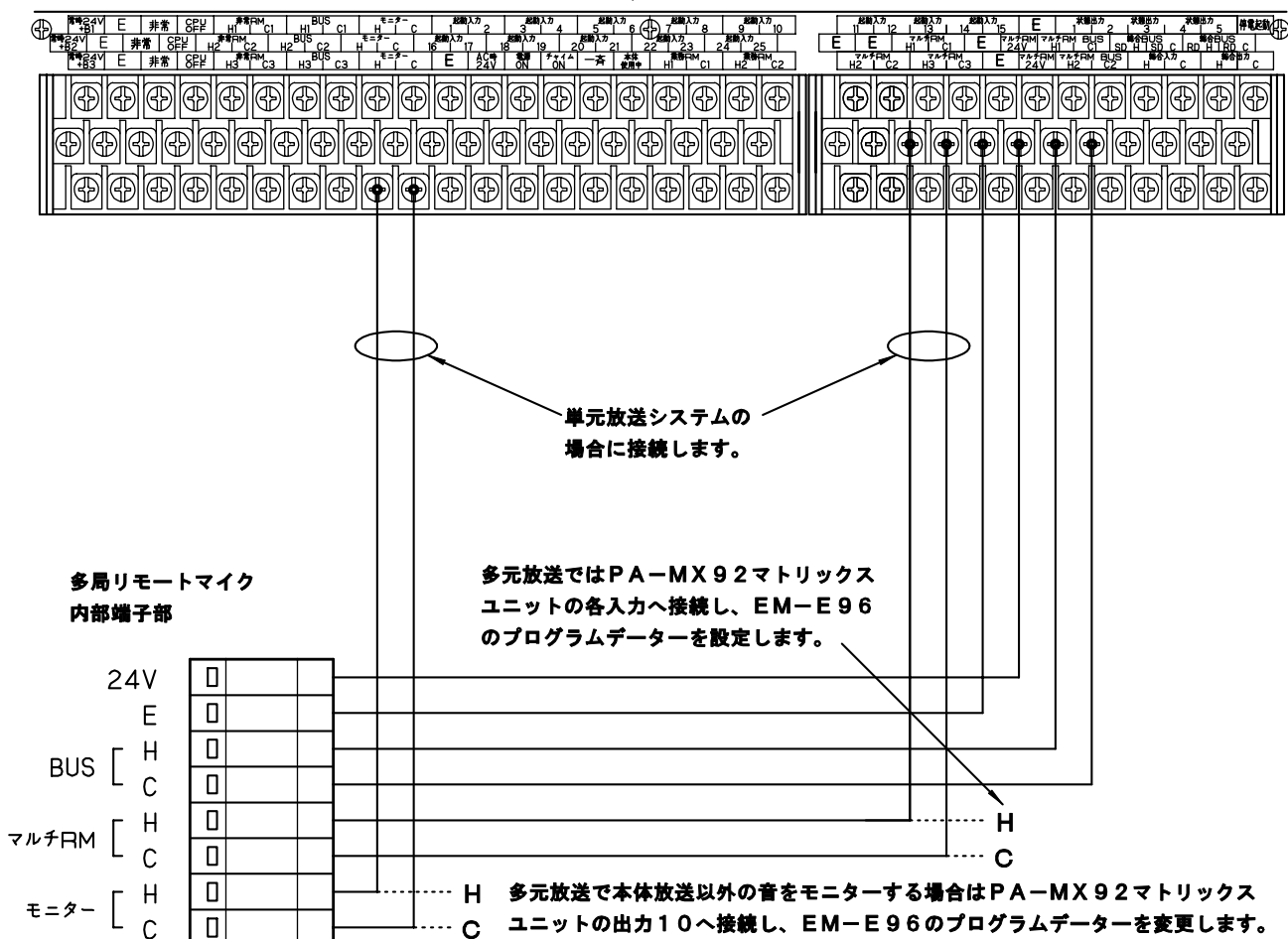
マルチリモートマイクロホンの接続

- ・本器は「PA-C620」と合計で最大8台まで接続できます。
- ・「PA-C620」と併せて2台以上使用するときは、主入力制御ユニット(EM-Y92)の端子から各遠隔操作器へ直接接続してください。(スター結線)。
- ・対捻りケーブルの各ペアー線を各ラインのホットコールド線(HC)のペアーとして使用してください。電源とアース線はこの必要はありません。
- ・使用ケーブルの1線あたりの線路抵抗(直流抵抗)は電源とアース線は5Ω以下としてください。音声と通信の線は10Ω以下としてください。

EM-Y92



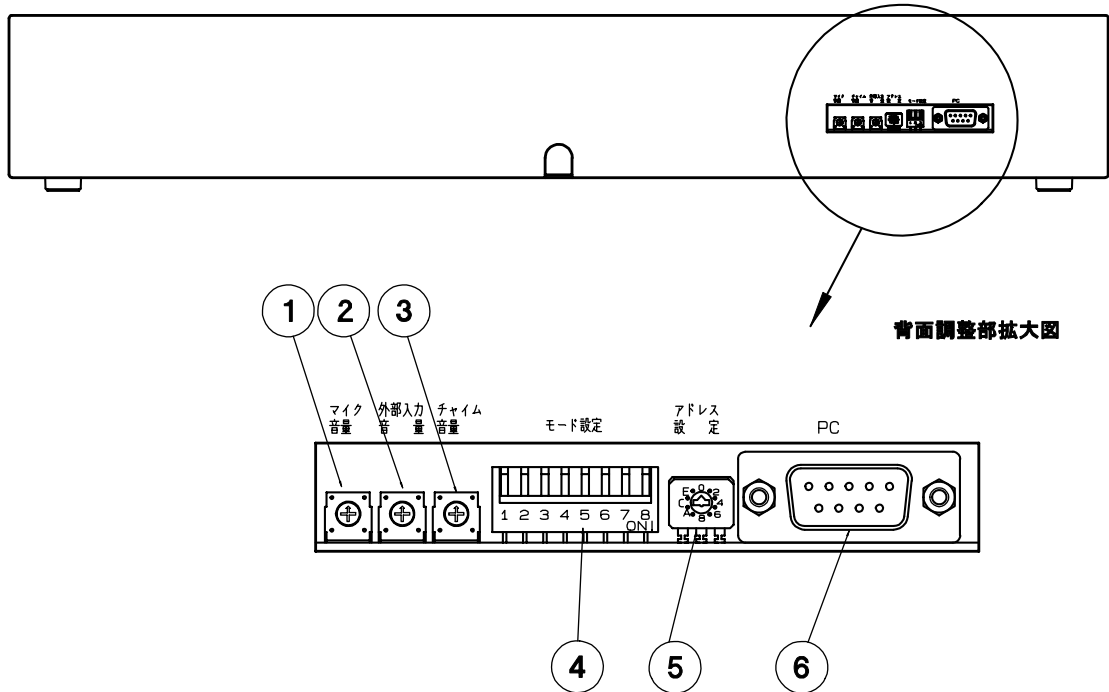
端子部詳細



調整

背面パネル調整箇所と名称・機能

リモートマイクロホン背面図



1. マイク音量

フレキシブルマイクの音量を調整します。右回し（時計方向）で音量が大きくなります。普通の大きさを話したときにレベル計の赤色が時々点灯するくらいが良好です。

2. 外部入力音量（モード設定スイッチー3参照）

外部入力端子の音量を調整します。右回し（時計方向）で音量が大きくなります。

3. チャイム音量（モード設定スイッチー5参照）

呼出チャイム音の音量を調整します。右回し（時計方向）で音量が大きくなります。普通は聴感上マイクよりやや小さめに設定します。

4. モード設定

各種設定をおこないます。次ページで説明します。

ON : スイッチが下側

OFF : スイッチが上側

5. アドレス設定

本機のアドレス番号を設定します。PA-C620と併せて最大8台まで接続できますが、それぞれ個別の番号を振り分けます。1～8の値を設定します。（0及び9以上は使用しません）

6. PCコネクター（モード設定スイッチー8参照）

ブロックスイッチのデータ新規書き込みや変更などメンテナンス時にPCを接続します。

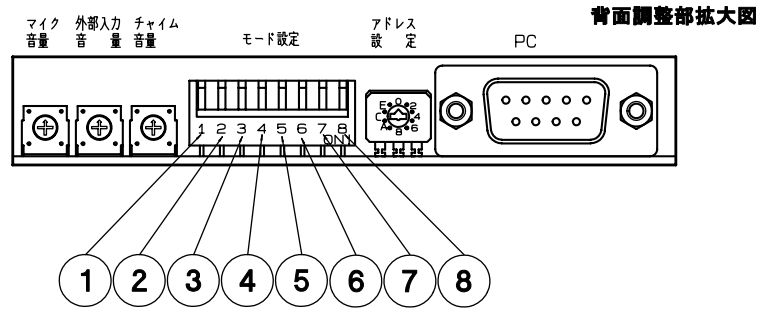
PCとの接続にはRS-232C用D-SUB9Pのクロスケーブルをご使用ください。

書き込み時の注意ですがPC接続時はリモコンは本体と通信していないために本体側でエラーが発生します。書き込み終了しましたら本体側でリセットをかけて復旧してください。

（PC上での編集は別冊「設定用ソフトウェア取扱説明書」を参照してください）

調整

背面パネル調整箇所と名称・機能（続き）



1. 制御1スイッチ動作設定

- 本器内部の制御出力の動作を選択します。接続する機器にあわせて保持動作かパルス動作を選択します。
- OFF：保持動作します。制御1スイッチを押すと制御1出力がON（メーク）します。もう一度押すとOFF（ブレーク）します。
- ON：パルス動作します。制御1スイッチを押したときだけ制御1出力が3秒間ON（メーク）します。

2. 制御2スイッチ動作設定

制御1スイッチの場合と同様に制御2出力が作動します。

3. 外部入力スイッチ動作設定

- OFF：外部入力スイッチ点灯時に外部入力端子に入力した音声信号とマイクからの音声信号を混合して出力します。
- ON：外部入力スイッチ点灯時に外部入力端子に入力した音声信号だけを出力します。

4. 自動復旧機能設定

- OFF：放送しているときに2分間音声のない状態が続くと自動的に放送を切ります。
- ON：自動復旧機能を無効にします。

5. チャイム自動送出機能設定

- 放送／復旧スイッチを押すとチャイムボタンを押さなくても放送開始時にはアップチャイムが鳴り、放送終了時にはダウンチャイムが鳴るように設定することができます。
- OFF：チャイムの自動送出をおこないません。オペレーターが手動でチャイムボタンを押して操作します。
- ON：チャイム自動送出をおこないます。チャイムスイッチは無効になります。

6. 未使用

常時OFF

7. 未使用

常時OFF

8. PC接続設定

ブロックスイッチのデータ変更などメンテナンス時にPCコネクターを使用します。このPCコネクターを使用するときに設定します。

OFF：PCコネクターを使用しないときはOFFに設定します。（通常時）

ON：PCコネクターを使用するときにはONに設定します。（データ書き込み時）

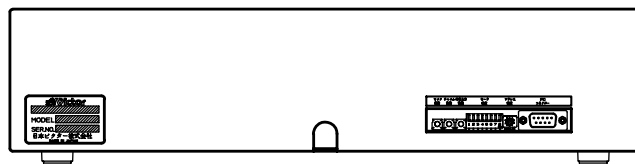
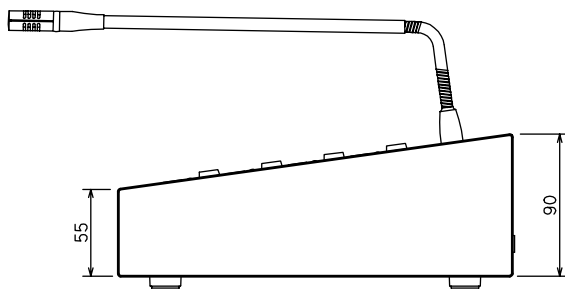
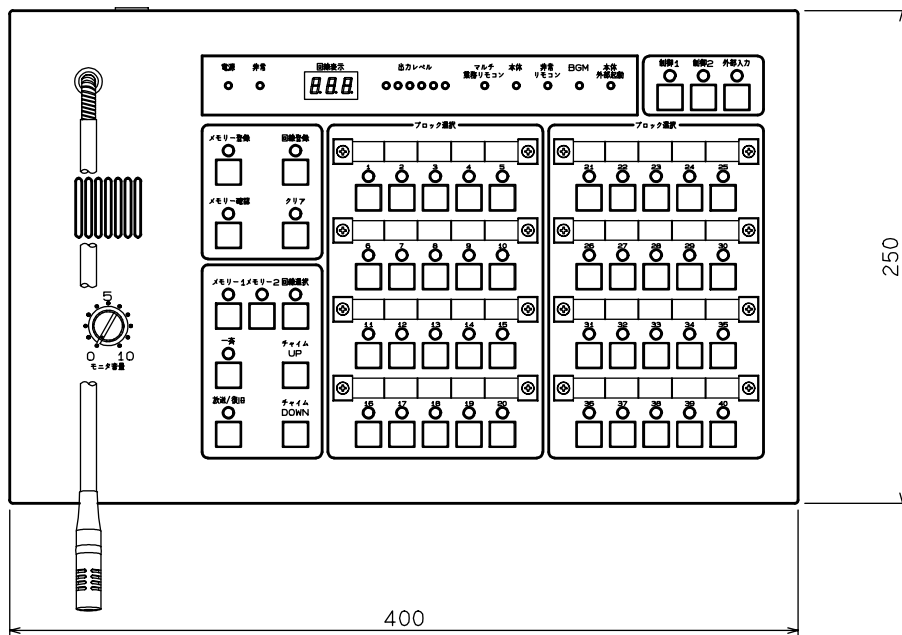
書き込み時の注意ですがON時には、リモコンは本体と通信していないために暫くすると本体側でエラーが発生します。書き込み終了しましたら本体側でリセットをかけて復旧してください。

定 格

出力制御	40ブロック及び一斉 (LED作動表示付)
メモリー選択	2ブロック (テンキーによるプリセット設定)
回線別 選択	最大320回線 (テンキーによる個別回線選択)
アナウンスマイク	フレキシブル型エレクトレットコンデンサーマイク
内蔵チャイム	4音チャイム (アップ、ダウン)
放送中表示灯	非常、業務RM、本体、非常RM、BGM、本体外部起動 各放送中
出力レベル計	6点発光ダイオード
回線番号表示	7セグメント、3桁
スイッチ	メモリー登録、回線登録、アップダウンチャイム、放送/復旧、外部入力、制御1、制御2
モニタースピーカ	0.4W音量調節器付
放送自動復旧機能	付 (音声の入力が無くなってから2分後に自動的に復旧)
電源	DC24V400mA (本体より供給)
外形寸法	幅400mm×高さ90mm×奥行250mm (マイク等の突起物は除く)
質量	5.0kg
仕 上	ライトグレー焼付け塗装 (マンセル3Y6/0.6近似)

外観寸法図

単位:mm



型 番

TZ-3640

日本ビクター株式会社

整理番号

ST95664

頁

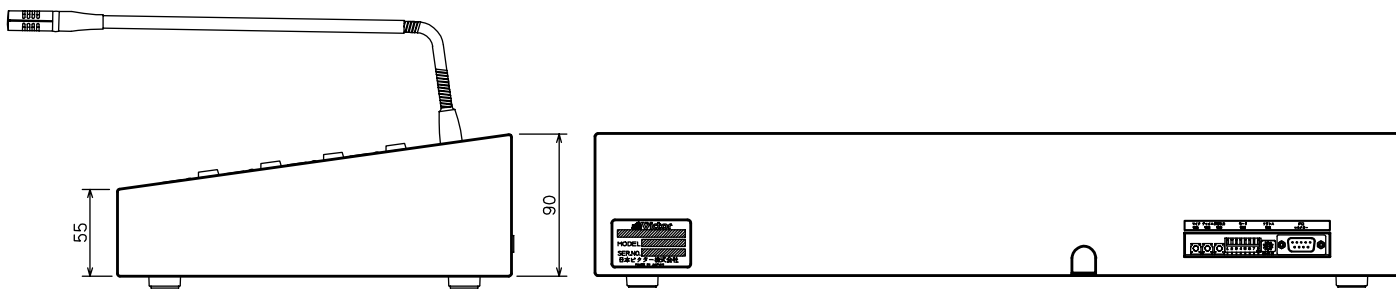
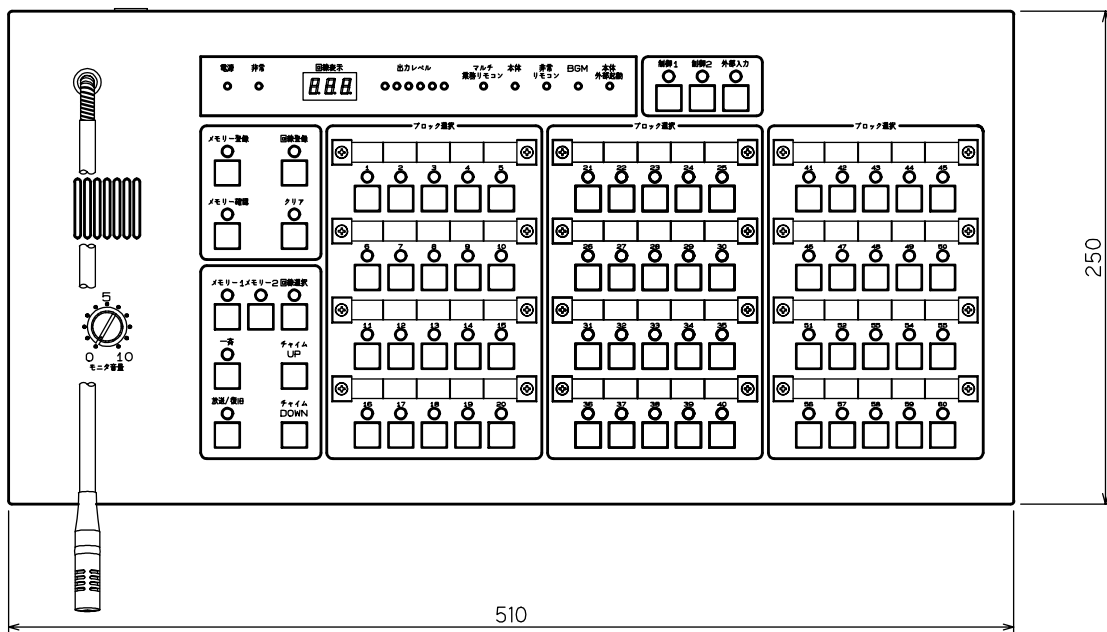
1/1

定 格

出力制御	60ブロック及び一斉 (LED作動表示付)
メモリー選択	2ブロック (テンキーによるプリセット設定)
回線別 選択	最大320回線 (テンキーによる個別回線選択)
アナウンスマイク	フレキシブル型エレクトレットコンデンサーマイク
内蔵チャイム	4音チャイム (アップ、ダウン)
放送中表示灯	非常、業務RM、本体、非常RM、BGM、本体外部起動 各放送中
出力レベル計	6点発光ダイオード
回線番号表示	7セグメント、3桁
スイッチ	メモリー登録、回線登録、アップダウンチャイム、放送/復旧、外部入力、制御1、制御2
モニタースピーカ	0.4W音量調節器付
放送自動復旧機能	付 (音声の入力が無くなってから2分後に自動的に復旧)
電源	DC24V500mA (本体より供給)
外形寸法	幅510mm×高さ90mm×奥行250mm (マイク等の突起物は除く)
質量	6.0kg
仕 上	ライトグレー焼付け塗装 (マンセル3Y6/0.6近似)

外観寸法図

単位:mm



型 番
TZ-3660

日本ビクター株式会社

整理番号	頁
ST95666	1/1

TZ-3640 マルチリモートマイクホン
TZ-3660

日本ビクター株式会社

プロシステム事業グループ
技術部プロオーディオタスク

〒192-8620 東京都八王子市石川町2969-2 電話042-660-7290